



こちら

中央区です

2月号
平成30年

中央区役所

〒860-8618 中央区手取本町1番1号 ☎096-328-2555(代表)

- ・総務企画課 ☎096-328-2610
- ・区民課 ☎096-328-2240
- ・福祉課 ☎096-328-2311
- ・保護課 ☎096-328-2320
- ・保健子ども課 ☎096-328-2419
- ・中央税務課 ☎096-328-2181

中央区まちづくりセンター ☎096-328-2232

中央区の人口 (平成29年12月1日現在推計人口) **人口** 187,993人(前月比-40) **世帯** 98,082世帯(前月比+5) **面積** 25.45km²(国土地理院公表値)

中央区ニュース

総務大臣表彰を受賞されました

中央区管内2名の自治会長が、平成29年度地縁による団体功労者総務大臣表彰を受賞されました。お二人は長きにわたり自治会長を務められ、住民の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう尽力されてきました。栄えある受賞、心からお祝い申し上げます。

- ・吉岡 達雄さん(春竹校区第6町内自治会長)写真左
- ・梶田 攝也さん(碩台校区第12町内自治会長)写真右



(中央区役所総務企画課)

中央区まちづくりセンターです

碩台校区・黒髪校区の地域担当職員の瀬井です。

これまで、碩台校区の「文化交流会」や「よってこかい!」での地域住民の交流の場づくり活動、黒髪校区の「異文化交流事業」や「河津桜植樹活動」などさまざまな地域活動に参加させていただきました。両校区とも近隣に大学や高校などの教育機関が集積しており、学生との連携や留学生との交流事業など、特色ある地域活動を展開されています。



碩台、黒髪校区担当
瀬井 健人

また、黒髪校区内のある自主防災クラブでは、資源物回収により自ら「稼ぎ」補助金に頼らない持続可能な運営に取り組まれており、こういった地域活動の中から多くのヒントをいただいております。

地域担当として、地域のみならず一緒に地域課題を共有し、一緒に考え、知恵を出し合いながら地域づくりが活発になるお手伝いができればと思います!

(中央区まちづくりセンター)

専門医による心の健康相談 **無料**



「何日も眠れなくてつらい」「食欲がなく、気持ちが落ち込み何もする気がおこらない」「受診させてくても本人に病気の認識がない」など、心の病気でお悩みの方、気軽にご相談ください。

- 日時** 2月26日(月) 午後2時~4時
- 場所** 中央区役所3階保健子ども課相談室
- 内容** 専門医による個別相談
- 対象** 心の病気の方や家族の方など
- 定員** 2組(先着順) ※予約制
- 申込み** 2月23日までに電話で中央区役所保健子ども課へ

育児相談 **無料**

子どもの発育・発達や子育ての悩みごと、離乳食の進め方など気軽にご相談ください。

- 日時** 2月5日(月)、19日(月)、26日(月)
午前9時~10時半
- 場所** 健康センター大江分室(ウエルパークまもと3階)
- 内容** 身長・体重の測定、行動や言葉の相談、歯に関する相談、離乳食・幼児食のすすめ方など
- 対象** 中央区に住む乳幼児と保護者
- 持参物** 親子(母子)健康手帳
- 申込み** 当日直接会場へ
(中央区役所保健子ども課)

子育てサークルに参加しませんか

各校区で子育てサークルが開催されています。子育て中のママ同士や、地域の方、保健師と話しませんか。妊婦さんもぜひ参加ください。

| 校区 | 日時 | 内容・場所 |
|-----|------------------------|---------------------------|
| 帯山 | 2月1日(木) 午前10時~正午 | 座談会(帯山地域コミュニティセンター) |
| 白川 | 2月20日(火) 午前10時~11時半 | おひな祭り(工作)(白川地域コミュニティセンター) |
| 託麻原 | 2月21日(水) 午後2時~3時半 | 乳幼児の食事について(天使の園保育園) |
| 碩台 | 2月26日(月) 午前10時~正午 | 歯のお話(碩台地域コミュニティセンター) |
| 一新 | 3月28日(水) 午前10時半~正午 | お花見&青空おしゃべり会(1丁目公園憩の家) |

※参加費がかかる校区もあります。詳しくは、中央区役所保健子ども課へ。



認知症介護家族のつどい

介護の悩みを打ち明けて気持ちを分かち合い本音が話せる場です。

- こもれびひろば
 - 期日** 2月16日(金)
 - 場所** 水前寺高齢者複合施設(中央区国府1丁目3-15)
 - 申込み** 電話でささえりあ水前寺(☎096-362-0065)へ
- もやいのひろば
 - 期日** 2月24日(土)
 - 場所** 風流街もやい館グループホーム五福(中央区細工町4丁目34-1)
 - 申込み** 電話でささえりあ熊本中央(☎096-319-0222)へ

- 【共通事項】
- 時間** 午後1時半~3時半
- 対象** 認知症の方を介護する家族
- 費用** 100円

(中央区役所福祉課)



防災

そなえる防災講座 **無料**

熊本地震での避難所の運営や防災の取り組みについて、女性の視点でのお話をいただきます。

- 日時** 2月28日(水) 午前10時~正午
- 場所** くまもと県民交流館パレA9階
- 演題** 「地震の時も女性は強かった~女性の視点から~」
- 講師** 徳丸 宏美さん(益城町立広安西小学校PTA顧問)
- 対象** どなたでも
- 定員** 35人(先着順)
- 申込み** 2月5日から電話(☎096-334-1500)またはホームページ(higomaru-call.jp)でひごまるコールへ
(中央区役所総務企画課)

魅力再発見 城下町くまもと散策

城東界限①

「桜の井戸」

今回から、中央区の中心市街地に位置する城東界限の魅力をご紹介します。第1回目は「桜の井戸」です。

賑やかな上通アーケードから上通郵便局方面に向かうと、かつて「桜井町」と呼ばれていた場所に着きます。この旧町名の由来となったのが、今回ご紹介する「桜の井戸」です。

「桜の井戸」は、上通セントラルハイツの前にあり、黒御影の装飾石で縁をとり、切石を積み上げ、植栽されています。

伝承によると、加藤清正公は有事に備えて城下の要所に桜の井戸を作ったとされており、この井戸はその中のひとつであるとされています。中でも知行一万石の家老有吉家の屋敷(「桜の井戸」のある敷地の向い側)を始め



周辺の井戸水は茶の湯に最適とされ、城中でも重宝されたといわれています。

このような経緯から「桜の井戸」は現在、熊本水遺産としての登録を受けて、本市の水の風土、文化を後世に伝える役割の一端を担っています。

清正公をはじめ熊本城歴代城主もこの「桜の井戸」から汲んだ井戸水でお茶を嗜んでいたかと思うと、改めて熊本の水資源の歴史の深さ、大切さに気づかされます。

- 【参考文献】
- ・「肥後国史」
- ・「熊本市中央北地区文化財調査報告書」

(中央区役所総務企画課)